

プレスリリース

平成16年 8月12日
農林水産省

平成15年度食料品消費モニター第3回定期調査結果の概要について

調査時期：平成16年1月
調査対象者：食料品消費モニター 1,021名
(全国主要都市に在住する一般消費者)
調査方法：郵送によるアンケート調査
回収状況：1,010名 (98.9%)

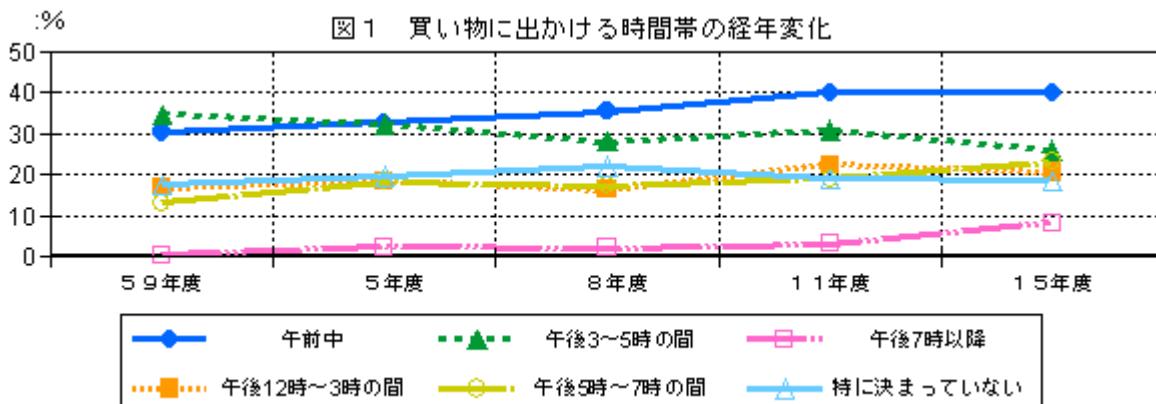
テーマ 食料品の購買行動について

1. 買い物には何時頃出かけるか

家庭で、日常、食料品を購入する場合、何時頃出かけるかについては（複数回答あり）、「午前中」と答える人が最も多く、40.0%、次いで「午後3時～5時の間」26.0%、「午後5時～7時の間」23.3%、「午後12時～3時の間」20.7%、「特に決まっていない」18.6%、「午後7時以降」8.3%となっている。

年代別にみると、「午前中」に出かけると回答する人が30歳代では約半数を占め最も多く、「午後5時～7時の間」とする人は20歳代に多い。また、「特に決まっていない」とする人は、60歳以上に多いが、この年代で「7時以降」と回答した人は非常に少なく、この時間帯に出かけるのは、若い年代になるほど多いという結果となっている。

過去の調査と比べてみると、「午前中」、「午後7時以降」と回答する人は増加傾向にあるが、「午後3時～5時の間」と回答する人は減少傾向となっている。（図1）

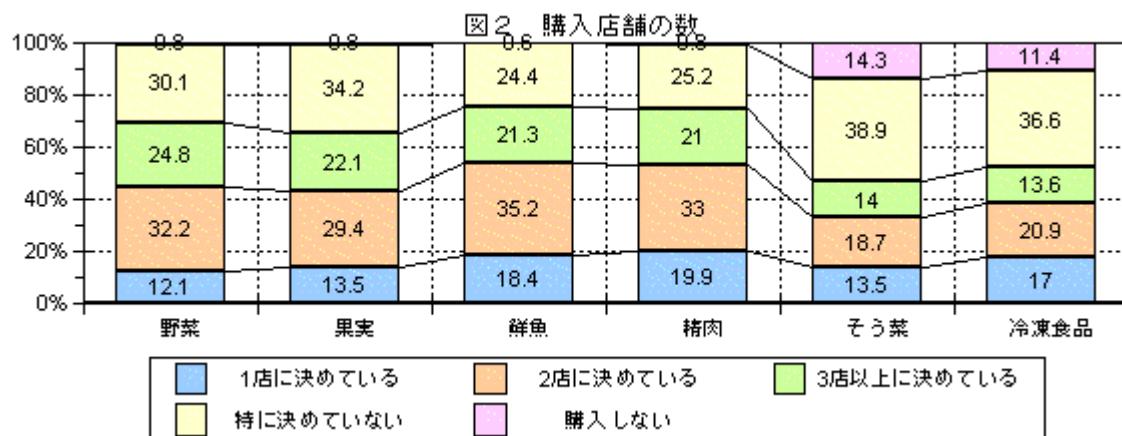


2. 購入店舗は決めているか

日常、食料品を購入する店を決めているかどうかを食料品の種類ごとに聞いたところ

る、「1店に決めている」を選んだ人が最も多かったのは「精肉」で19.9%、次いで「鮮魚」18.4%、「2店に決めている」を選んだ人が最も多かったのは「鮮魚」で35.2%、次いで「精肉」33.0%、「3店以上に決めている」を選んだ人が最も多かったのは「野菜」で24.8%、次いで「果実」22.1%、「特に決めていない」を選んだ人が最も多かったのは、「そう菜」38.9%、次いで「冷凍食品」36.6%となっている。

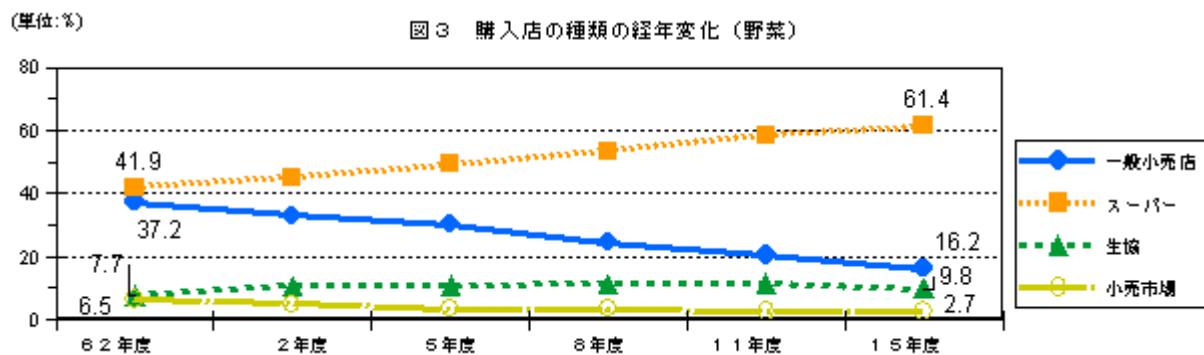
精肉、鮮魚、野菜、果実などの生鮮食料品は店舗を決めて、そう菜、冷凍食品などは特に店舗を決めずに購入している傾向が見て取れる。（図2）



3. 購入店の種類

日常、食料品を購入する場合、最もよく利用するのはどのタイプの店か、食料品の種類ごとに聞いたところ、どの食料品も「食品スーパー」と回答する人が多く、次いで「総合スーパー」となっており、この2つを合わせた割合は、「冷凍食品」では7割を超え、他の食料品も6割を超えていている。

これまでの調査と比べてみると、「一般小売店」（「一般小売店（専門店）」、「一般小売店（総合店）」）、「小売市場」と回答する人は減少を続けており、その分、「スーパー」（「総合スーパー」、「食品スーパー」）と回答する人が増え続けている。（図3）



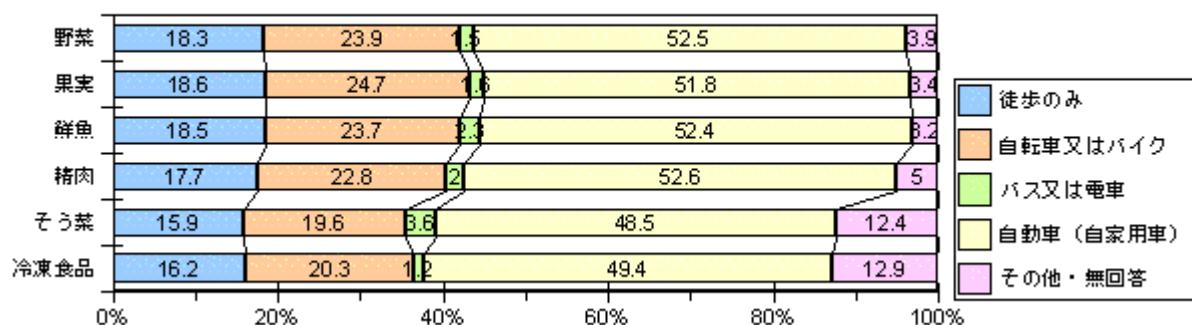
4. よく利用する店までの交通手段

食料品を購入する場合、最もよく利用する店までの交通手段について、食料品の種類ごとに聞いたところ、どの食料品も「自動車（自家用車）」と回答する人が最も多く、

「精肉」では52.6%、最も少ない「そう菜」でも48.5%となっている。次ぎに回答が多かったのはどの食料品も「自転車又はバイク」で、3番目は「徒歩」であった。（図4）

過去の調査と比べてみると、「徒歩」、「自転車又はバイク」で買い物に出かける人は減少を続けており、「自動車（自家用車）」は増加を続けている。「自動車（自家用車）」を利用する人については、品目を限定せずに聞いていた昭和52年度が7.4%であったのに対し、現在は、最も割合の高かった「精肉」で52.6%と26年間で約7倍となっている。

図4 よく利用する店までの交通手段

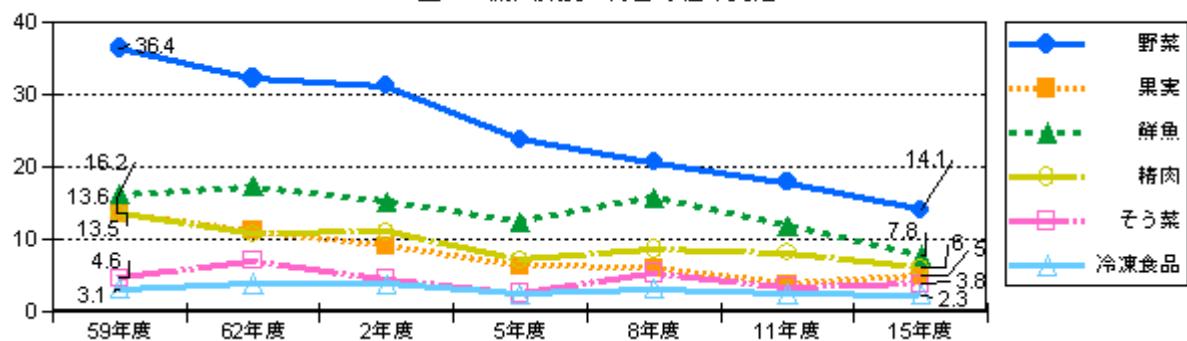


5. 購入頻度

食料品を購入する場合、購入頻度はどのくらいか、食料品の種類ごとに聞いたところ、「野菜」、「果実」、「鮮魚」、「精肉」は「週に2回」と回答する人が最も多く、それぞれ38.3%、37.1%、39.9%、39.5%となっている。「そう菜」は「週に1回」と回答する人が多く22.5%、「冷凍食品」は「月に1回」が多く27.5%となっている。

「毎日」と回答する人は、減少傾向にあるが、「野菜」だけは14.1%と1種類だけ2桁の割合となっている。（図5）

図5 購入頻度・毎日の経年変化



6. 利用したい食料品の販売方法

自分で出かける買い物以外に、どのような食料品の販売方法を利用したいと思うかについて販売方法ごとに聞いたところ、「利用したい」の項目で回答が最も多かったのは「産地直送の宅配便」で47.2%、「利用している」で多かったのは「共同購入」で27.1%、「利用するつもりはない」で多かったのは、「訪問販売」で95.1%と

なっている。

(問い合わせ先)

消費・安全局消費・安全政策課消費者行政企画班

担当者：古川、松嶋

電 話：(代 表) 03-3502-8111 (内 線) 3066

(直 通) 03-3591-4963 3067

(F A X) 03-3597-0329